2022 年 10 月 17 日
ANEC 事務局

北海道電力・泊原子力発電所見学について

1. 概要

北海道電力(株)・泊原子力発電所を見学し、原子力発電所の構造、機能について学びます。

先ず、とまりん館にて、原子力発電所の概要について、概念的に学びます。

次に屋外においては、自然災害などに対する防災体制に係る防潮堤等を見学します。

屋内設備においては、制御設備、発電設備、更に原子炉設備、燃料取扱い設備がある管理区域に入ります。特に今回は、北海道電力のご協力により、実際の原子炉格納容器内に入域できます。これは、滅多にない、非常に貴重な機会です。

最後に、シミュレータ設備に実際に触れ、原子炉の運転を体験します。

発電所の見学に際しては、皆さんの先輩にあたる北大 OB を含む北海道電力社員の皆さんにエスコートしていただける予定ですので、原子力発電所で働く方々の生の声を聞けるという観点でも貴重な機会です。

2. 日時

令和 4 年 11 月 12 日(土)9 時～18 時 30 分

3. 場所

北海道電力　泊原子力発電所

〒045-0201　古宇郡泊村大字堀株村字山ノ上 219 番地 1

TEL　0135-75-3331

https://www.hepco.co.jp/energy/atomic/atomic.html

4. 見学日程

日程詳細は添付 1 を参照のこと。

集合日時:11 月 12 日(土)8 時 50 分

集合場所:北海道大学工学部正面玄関前(添付 2:キャンパスマップ参照)

緊急連絡先

中島　宏　090-8844-3112

011-706-7834(研究室)

2022 年 10 月 17 日
ANEC 事務局

5. 食事

昼食は、とまりん館にて、用意します。

6. 事前学習

11 月 11 日（金）5 講目、会議室 A4-63 において事前講義を行います。

講義名：「北海道電力株式会社の原子力の取組」
講師：北海道電力株式会社　原子力事業統括部　部長　武田　佳也氏

講義名：「シミュレータ関連の事前講義（仮）」
講師：北海道電力株式会社　泊発電所発電室　打矢　剛朗氏

また、下記の学習資料により、事前に学習し、質問事項、興味のある点などを纏めてください。
11 月 4 日（金）までに、ANEC 事務局(aneoffice@hokudai.eng.ac.jp)に提出してください。形式は問いません。

＃01「原子炉工学」

- 原子炉工学概論Ⅰ　ー原子炉のしくみー（千葉豪）
- 原子炉工学概論Ⅱ　ーいろいろな原子炉ー（千葉豪）
- 原子炉工学Ⅰ　ー核分裂連鎖反応と臨界ー（千葉豪）
- 原子炉の動特性（千葉豪）
- 原子炉の熱工学（坂下弘人）
- 加圧水型軽水炉（PWR）（島津洋一郎）
- 原子力発電所の安全性確保の考え方・評価法の枠組みと東電福島第一原発事故後の安全性向上の現状（杉山憲一郎）

7. 事前アンケート

事前アンケートに協力をお願いします。下記 QR コードをスマホで読み取って、11 月 4 日（金）までに回答してください。

2022 年 10 月 17 日
ANEC 事務局

なお、見学会終了後にも、本見学会の効果を見るために、事後アンケートを行いますので、併せて協力をお願いします。

8. 注意事項

・身分証明書を、現地にて、確認します。先に登録した身分証明書を必ず携行してください。
身分が確認できない場合、原子力発電所に入域できません。

・緊急事態宣言が発令され、移動自粛の指示が出た時点で、中止します。

・体温が 37.5 度以上ある、味覚を失った等、体調不良の場合は、直ちに連絡してください。
・実習前 2 週間に発熱等あった場合には実習参加を自粛してください。
・感染対策のための除菌等はこまめに行ってください。

・泊原子力発電所見学にあたっての諸注意事項を遵守してください。

以上

2022 年 10 月 17 日
ANEC 事務局

添付 1

泊原子力発電所見学会スケジュール（予定）

日　　時	内　　容	備　考
9:00	札幌出発（貸切りバス）	
	※北海道大学工学部　正面玄関前集合	
10:50 頃	とまりん館到着（身分証明書確認）第 2 会議室	
11:00～11:30	とまりん館見学	
11:30～12:30	【昼食】および【概要説明】	昼食は北海道
	@とまりん館会議室	電力にて用意
12:30～12:40	発電所へ移動（発電所バスにて）	
	（茶津守衛所から入構）	
12:50～13:20	【泊発電所　見学】	
（30 分）	≪屋外設備≫	
	・展望台（全体説明）	
	泊発電所構内を一望できる展望台にて全体配置説明	
	・防潮堤・防潮壁（車窓）	
13:30～15:00	≪屋内設備（3 号機）≫	
（90 分）	（非管理区域）	2 班に分かれ
	・中央制御室・タービン建屋（見学者ルートより案内）	て見学
	（管理区域）	
	・原子炉格納容器内（ｽﾌﾟﾚｲﾘﾝｸﾞ、PAR、ｲｸﾞﾅｲﾀ等）	
	実際に格納容器内に入域し、水素爆発を防ぐために設置した静的触媒式水素再結合装置（PAR)、電気式水素燃焼装置（イグナイタ）等を見学	
	・燃料取扱棟（検査室）	
	使用済燃料が貯蔵されているピットを見学	
15:10～15:20	≪総合管理事務所見学≫	
（10 分）	当社社員（約 500 名）が常駐している事務所を見学	
15:30～15:50	≪シミュレータ設備≫	
（20 分）	中央制御室で見学した総合デジタル運転操作盤のシミュレータに触れる	
16:00～16:10	とまりん館へ移動	
16:10～16:30	質疑応答、懇談	

16：40	見学会終了（18:30 頃　札幌着：工学部⇒札幌駅北口）	

2022 年 10 月 17 日
ANEC 事務局

添付 2